

○水生生物モニタリング調査結果一覧（宇多川C）

<宇多川C 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
C-1	○	○	○	—	○	—
C-2	○	○	○	—	○	—
C-3	○	—	○	—	—	—
C-4	○	○	○	○	○	○
C-5	○	○	○	—	○	—
C-6	○	○	○	—	○	—

<宇多川C 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質				底質			その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)	
C-1	37.7956°	140.7457°	H26.10.22	9:00	9:07	13.3	13.4	砂	10YR4/4	なし	0.88	>50.0	
C-2	37.7710°	140.7277°		9:53	10:00	13.1	13.3	泥混砂	2.5Y3/2	植物片	0.42	36.5	
C-3	37.7791°	140.8041°		10:54	—	13.3	—	—	—	—	0.40	36.0	
C-4	37.7693°	140.8442°		11:40	11:55	14.3	14.5	砂	2.5Y5/2	なし	0.33	>50.0	
C-5	37.7645°	140.8604°		13:33	13:38	14.3	14.3	砂	2.5Y4/1	なし	0.23	>50.0	
C-6	37.7764°	140.8876°		14:15	14:21	14.3	14.3	細砂	2.5Y5/2	なし	0.45	>50.0	

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
C-1	37.7956°	140.7457°	H26.10.22	9:00	7.4	0.5	3.7	10.2	8.2	0.05	1.4	3	1.4	0.020	0.056	—
C-2	37.7710°	140.7277°		9:53	7.1	1.0	7.2	8.8	9.2	0.05	3.3	12	7.5	0.071	0.21	—
C-3	37.7791°	140.8041°		10:54	7.5	0.7	4.1	10.6	8.0	0.05	1.6	10	7.8	0.066	0.19	—
C-4	37.7693°	140.8442°		11:40	7.6	<0.5	3.2	10.6	7.7	0.04	1.2	3	1.9	0.029	0.091	0.0010
C-5	37.7645°	140.8604°		13:33	7.7	<0.5	3.3	10.4	7.9	0.04	1.3	4	3.3	0.022	0.064	—
C-6	37.7764°	140.8876°		14:15	7.7	<0.5	2.9	9.9	8.7	0.05	1.3	3	2.3	0.014	0.045	—

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
C-1	37.7956°	140.7457°	H26.10.22	9:07	7.0	269	29.1	3.3	3.9	2.745	26.1	36.6	26.9	6.9	1.6	1.9	1.2	19	330	1,100	—
C-2	37.7710°	140.7277°		10:00	7.0	248	28.1	3.8	6.0	2.772	16.6	27.9	28.0	10.9	7.4	9.2	0.70	9.5	190	620	—
C-4	37.7693°	140.8442°		11:55	7.1	235	23.1	1.6	1.3	2.727	18.6	34.5	42.9	3.3	0.4	0.3	0.91	9.5	200	670	0.65
C-5	37.7645°	140.8604°		13:38	7.2	232	21.0	1.4	1.3	2.711	39.7	44.3	13.8	1.7	0.3	0.2	1.7	9.5	130	420	—
C-6	37.7764°	140.8876°		14:21	7.2	258	26.5	2.0	1.2	2.750	2.1	22.1	61.5	11.7	1.5	1.1	0.55	4.75	170	510	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	種名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			Cs-134 (Bq/kg-wet)	Cs-137 (Bq/kg-wet)	Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	胃内容物	測定部位				
C-6	-	37.7764°	140.8876°	H26.10.30	藻類・植物	-	-	-	-	河床付着物 (藻類を含む)	相当数	0.061	-	-	-	49	150	-	
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガトビケラ	<i>Stenopsyche sauteri</i>	チャバネヒゲナガカワトビケラ	177	0.013	幼虫	-	-	-	27	87	-
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	111	0.024	幼虫(ヤゴ)	-	-	4.6	14	-	
					節足動物	昆虫	トンボ	エドトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ									
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Onychogomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Davidius nanus</i>	ダビドサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Sinogomphus flavolimbatus</i>	ヒメサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤマ	<i>Boyeria maculachiani</i>	コシボソヤンマ									
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ									28
					節足動物	軟甲	十脚	ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	940	0.13	成体	-	-	5.9	18	-	
					節足動物	軟甲	十脚	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	18	0.31	成体	-	-	6.7	22	-	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	5	0.024	未成魚/成魚	-	-	-	10	35	-
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	オイカワ	<i>Zacco platypus</i>	オイカワ	36	0.24	未成魚/成魚	-	-	7.8	28	-	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	カワムツ	<i>Nipponocypris temminckii</i>	カワムツ	9	0.044	成魚	-	-	4.8	16	-	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius sp.</i>	シマヨシノボリ	49	0.13	未成魚/成魚	-	-	10	26	-	
					脊椎動物	両生	ツチガエル	ツチガエル	<i>Rana rugosa</i>	ツチガエル	2	0.019	成体	-	-	N. D. (2.2)	8.7	-	
					粗粒状有機物	-	-	-	-	水底落葉等	相当数	0.20	-	-	-	-	8.6	24	-

- ※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名で下線で示した。
- ※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- ※5：成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢査定の結果を示す。
- ※6：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- ※7：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※8：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※9：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。